







ここはいい街だな

街並みは美しく
治安もいい
我が国も手本と
したいほどだ

アリシアは任務で他国の都市を訪れていた
そして仕事も一段落ついた
屋下がりのこと……

がチャミ



これはこれは騎士様
当店にお越し頂き光栄でございます



カランッ
カランッ



もちろんです

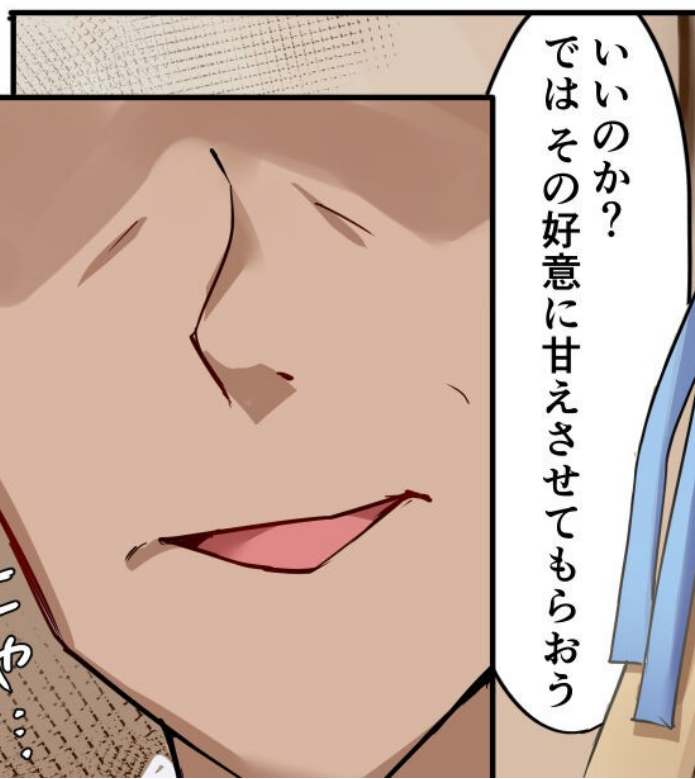
ただいま奥の個室が
空いておりますので
どうぞお使い下さい

さぞお疲れの事でしょう



そうかしこまらないでくれ
私はただの客だ

一人の席は空いて
いるだろうか？



いいのか？
ではその好意に甘えさせてもらおう





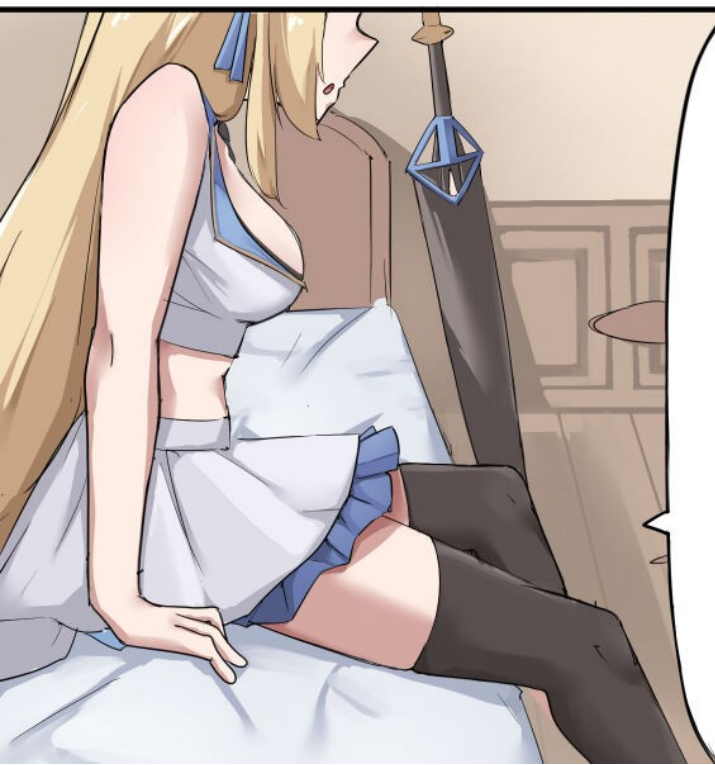
この部屋は騎士様のようなお方に
お使い頂くためのものですから
すぐに紅茶を用意いたしますね



こんな立派な部屋
本当にいいのか？



ありがとう
めいっぱいくつろがせてもらうよ

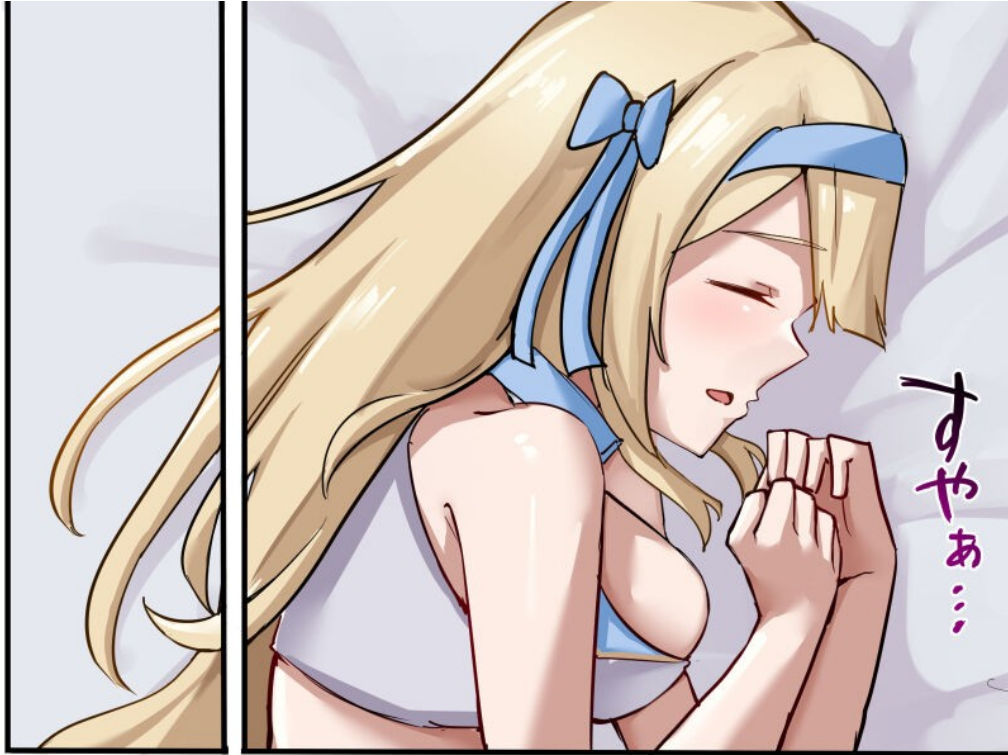


異国に来る仕事も
初めてではないとはいえ
やはり気疲れしてしまうものだな……



ふう……

ボフッ

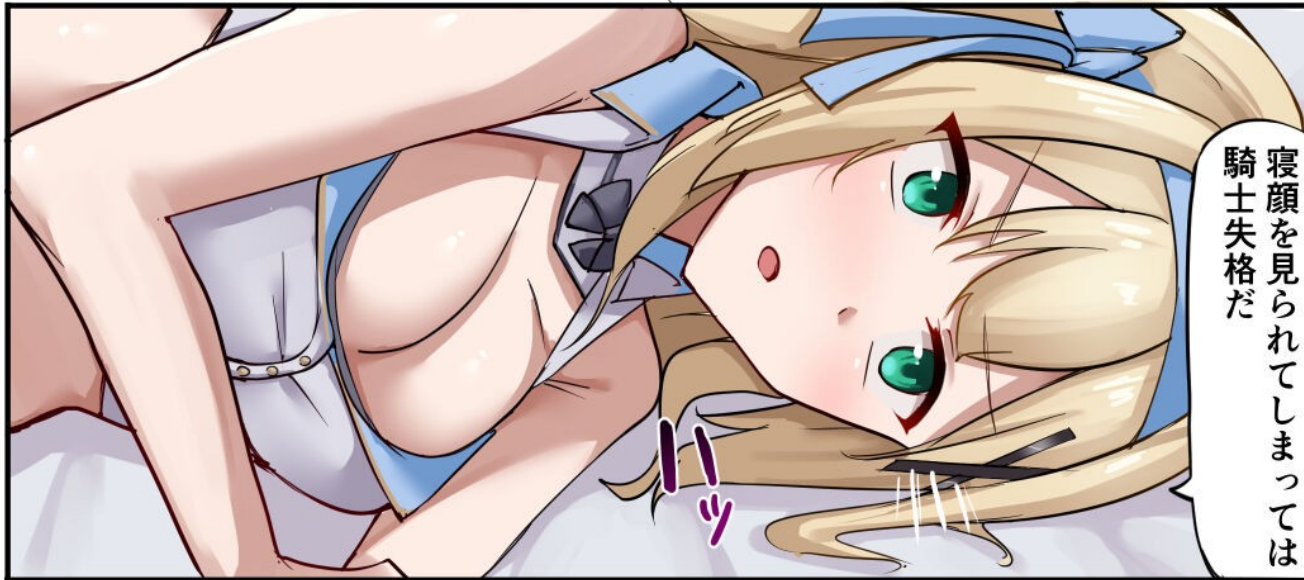


すやあ…



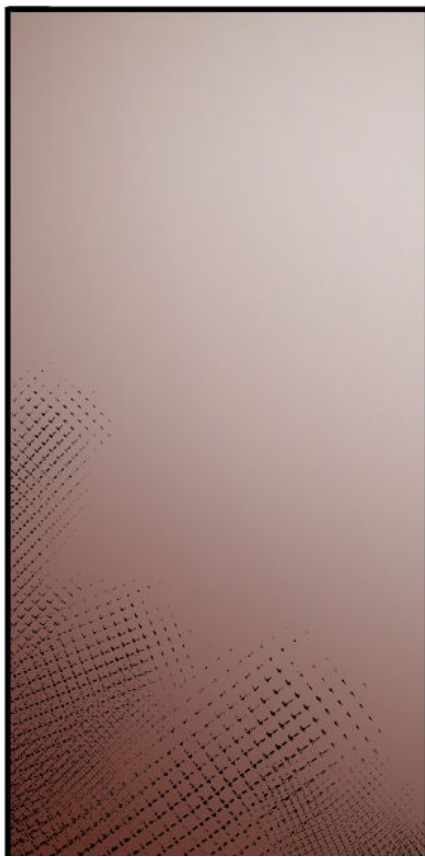
それにしてもお香まで炊いてあるとは
これもこの国流のもてなし方だろうか

甘くていい香りだが
少し眠くなってきてしまうな……



寝顔を見られてしまったては
騎士失格だ

いけないいけない
もうすぐ店長が
お茶を持ってくるだろうに



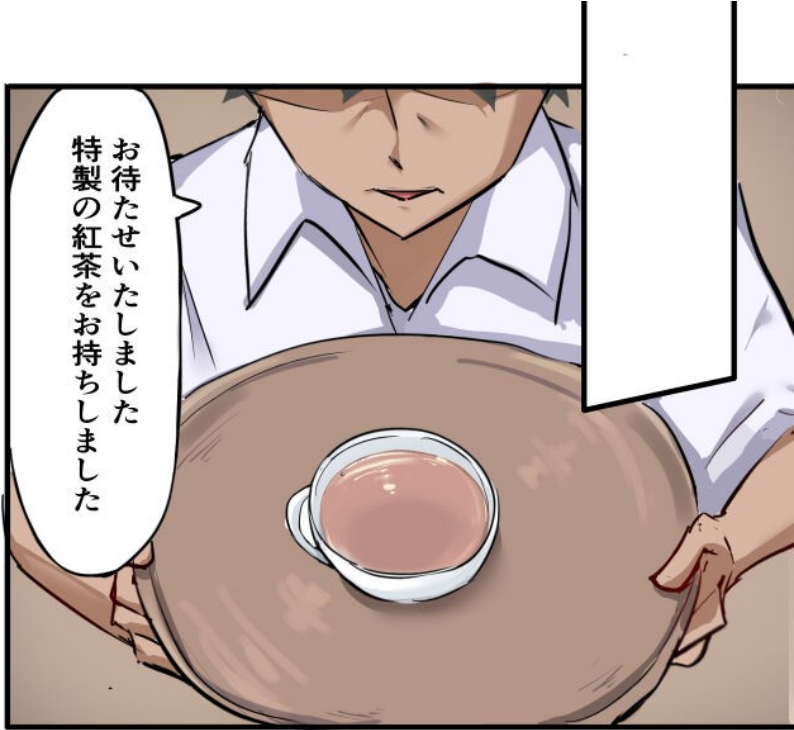
それにしても眠い……
思った以上に
疲れていたらしいな……



随分長いこと
寝てしまった気がする...



あ...ああ
ありがとう



お待たせいたしました
特製の紅茶をお持ちしました



いい香りだ...
お香もそうだが
この国では
香りという
文化を大切に
しているのか?



精神にも作用しますから



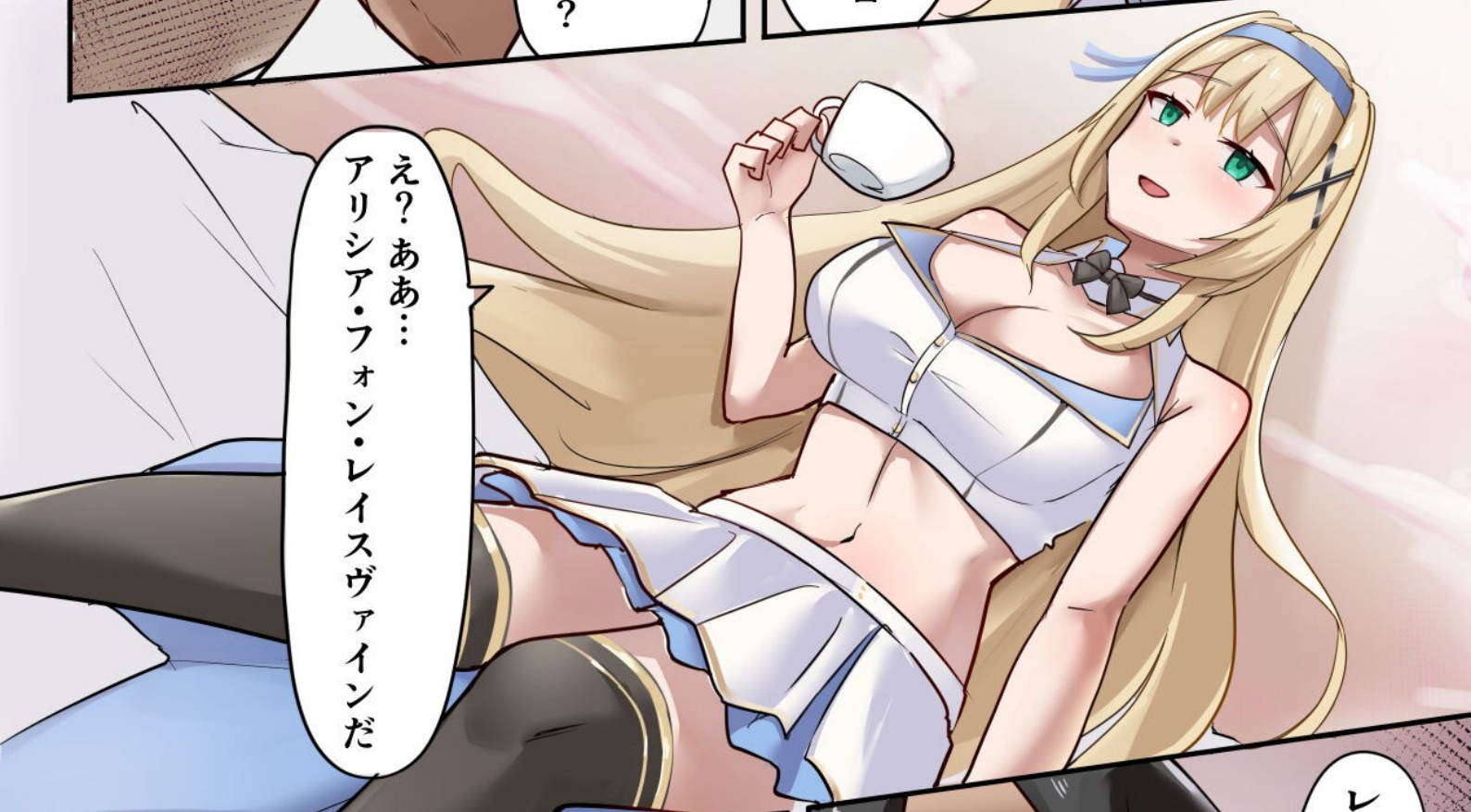
ええ
香りというものは
とても大切に



ああもちろんだ
こんなにも素晴らしいお茶にお香
自国に持ち帰りたいぐらいだ



それはそれはところで
騎士様のお名前は
なんと言うのでしょうか？



え？ ああ…
アリシア・フォン・レイスヴァインだ

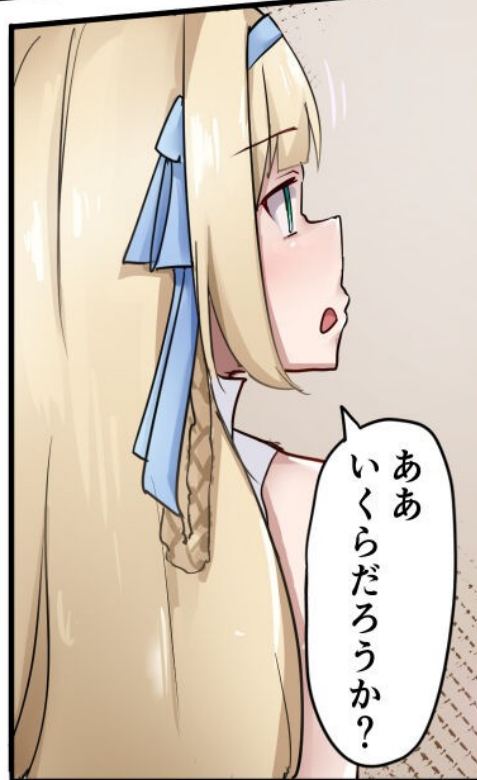


レイスヴァイン？

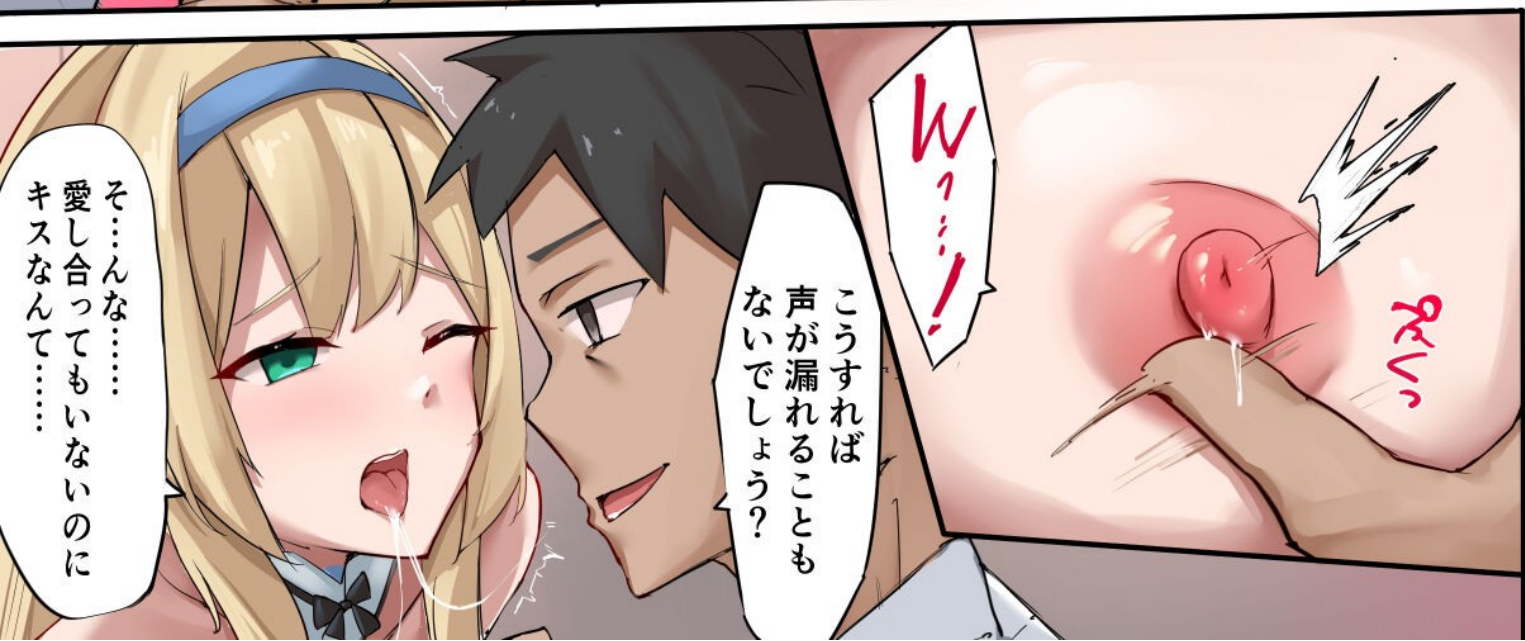
もしや噂に聞く
レイスヴァイン王国の
姫君ですか！？



その通り
あまり姫だからと
特別扱いは
されたくないのだが……









そうなの…か……？
それなら仕方ない
か……？



この国ではキスぐらい
誰でもします
何もおかしいことではありません



本当にこれが常識なんだろうか？
何かおかしい気がする……

でも店長がこう言うのだし
それが正しいのだろう……



さ…姫様
ベッドに横になられて下さい
お代のお支払いはまだですよ



えっ……?
もう十分触っただろう?

何をおっしゃいます
体で払うとはセックスをするという事
今までのはその前戯ですよ



店長がこう言ってるんだ
何もおかしくはない
それに従わなければならない

そうか…
なら仕方ないな



ところで姫様
初エッチはお済みですか？

いや経験はない
優しくして
もらえないだろうか？

ええもちろんです

私に全て
お任せくださいっ！

ぴとっ...

いっしょに

おお姫様
素晴らしい締付けです！

初めてなのに
もう感じておられるのですか？

んっ！

んっ！

あつ...あつ！おかしっ...!!
痛い...はずなのに
気持ちよくてっ...!!

ズッ

ズッ

ズッ

ひん

最高ですよ姫様！
体がエロいだけでなく
セックスまでお上手とは！

ああああああんっ！
気持ちいいっ……！

何これ知らないっ……！
気持ちいいのぉっ……！

んっ……

パンッ

パンッ

あんっ……

姫様……いやアリシア
君は私に借金をしているんだ

フッ

グッ

グッ

それを返済するまで
帰れない事は
もちろん覚えてるよなっ？

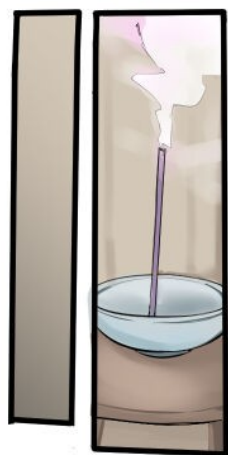
お前は店の高価な食器を割ってしまったんだ
それを返済するまで国には帰れない
わかったな？

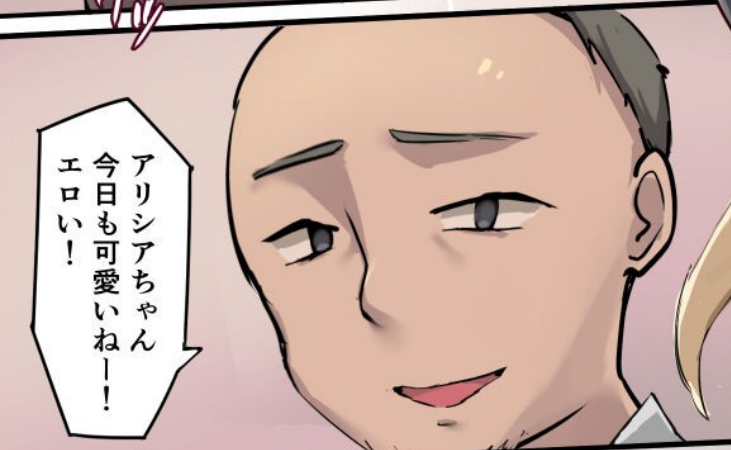
あっ……

えっ……？

なんの……ことッ……！？

んおッ





いらっしやいませー！

それから私はこのお店で働いている
私には借金があり
それを返すまでは国に帰れないから

もうっ
可愛いだけで十分ですよ

何か忘れてる気もするけど
店長に迷惑をかけた分
きちんとそれを体で返済しないと



仕事終わりには店長に
オナニーを見せるのが当たり前

仕事でお疲れの店長を癒やすためにも
気合を入れてやらないと



ああいー光景だよアリシア
お前は本当に優秀な店員だ

店員として店長にオナニーを
見せるのは義務だからね

いッ……イきます……店長ッ……！！

店長もこう言っている
だからこれは何もおかしくないんだ
頑張らないと！

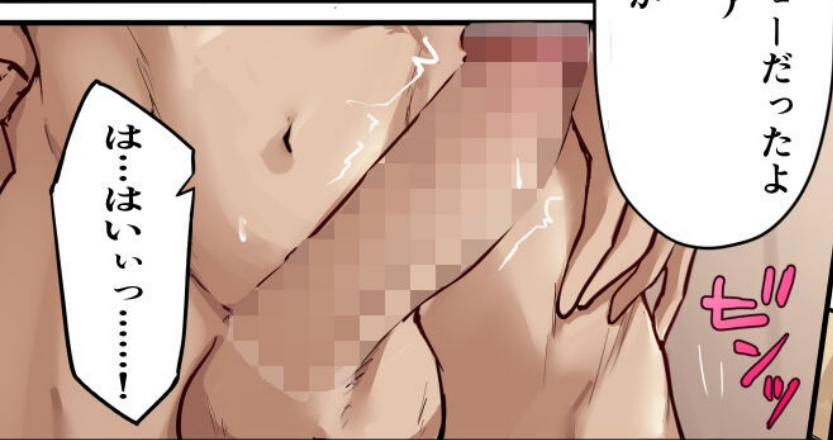
W.



最高のオナニーショーだったよ
それじゃあアリシア
今日も借金を
返済してもらおうか



はあ
はあ...
はあっ.....!
いかがでしたか?



は...はいっ.....!



れろお...♡



はあっ



♡じゅぽ♡
♡じゅぽ♡

よしよし
アリシア
すっかりフェラ
も上手くなったな

ふっ





うっ...くううっ!
出るぞ
アリシアっ.....!

いかがでしょうか.....!

レキッ



ふ
あああ
あっ.....!!

レキッ
うっ
うっ
うっ
うっ
うっ

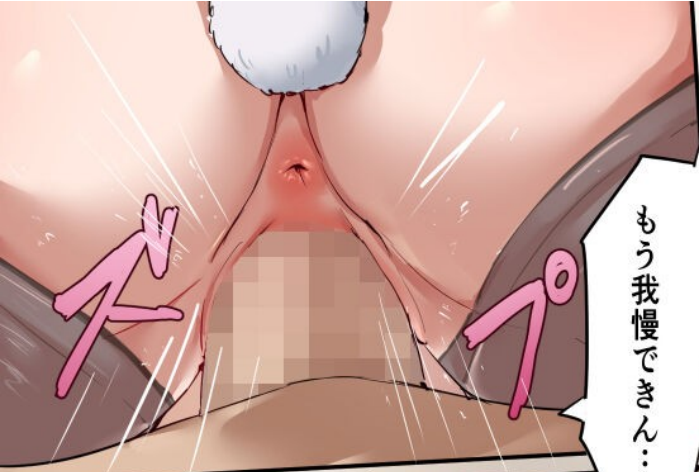
うっ



はい...
ありがとうございます.....!



ふうっ...本当に
お前のデカパイは優秀だな
最高の精液搾りおっぱいだ



アリシアが
エッチなのが
いけないんだ



いけっ!
いき狂えアリシア!
そうすればもっと
暗示も強まる!



アリシア
お前は俺に買われた
性奴隷だわかるな？

はいご主人様
アリシアを購入して頂き
ありがとうございます

こらアリシア
命令もなく寝るんじゃない
ここはお前の調教部屋なんだ
自分で綺麗に片付けろよ

は…はいっ……
ご主人様……！

今日も私は
ご主人様に調教を
していただく日々

私はご主人様に
買って頂けた性奴隷だから

ご主人様に満足して
頂くことだけが
私の生きる意味

ご主人様

今日も調教
よろしくお願い
いたします♪

よいいぞ
アリシア

そのままいやらしく
腰を振るんだ
男を誘うようにな

時々なんだか違和感の
ようなものを感じるけど

私に性奴隷以外の
過去なんて
ないはずなのに

お…おひりいいいんっ！
ぎもぢいいのおおおっ……！

そんなにアナルが
気持ちいいのか？
この変態め

んひひひひひッ

わっ

わっ





よしよし
本当にお前は優秀な奴隷だ
褒めてやろう

ご主人様
ありがとうございます！
アリシアとっても
嬉しいです……！

あっ ああっ……

ど……どうしましょうご主人様
私ご主人様が
愛おしくてたまらないんです……！

どこか心の内にあった違和感は
完全になくなっていて
私はご主人様に
お仕えできる喜びに
打ち震えていました

いいぞたまにはお前から
セックスすることを許してやる
俺を気持ちよくさせてみる
アリシア

ご主人様にご奉仕できるのが
何よりも嬉しい……！

ご主人様っ……!!
失礼いたしますっ……!!

ご……ご主人様の
おちんぽおっ!
すっごく感じるの

あぁっ♡

レキッスッスッ

ふっ……くうっ……!!
いいぞアリシア……!!
そのまま思い切り腰を振れ!

いいぞアリシア!
それでこそ
性奴隷の姿だ……!!

おんっ

おん

おん

おん



ああんっ!!

おっぱいいいっ!!
ぎゅってするの
好きですううっ!!

おっぱいの
調教も完了だな

お前はもう全身が性器で
性処理の道具だ
その自覚はあるな?

はいっ
アリシアのこと
どうか末永くっ...

お好きなようにお使い下さいっ...!!
ご主人様あつ♡

俺が丹精込めて育てた
性奴隷だからな

安心しろお前のことは一生
使い続けてやる

ありがとうございます
ご主人様っ.....!!



そろそろ出るぞ!

ぽん

ぽん

あっつい精液

ああああん!!

ふああああん!!

ぐりぐりぐり



こうして私はご主人様のお言葉通りに
来る日も来る日もご主人様の
性処理の道具として使っていただいています

ご主人様っ♡

いかがでしょうか
アリシアの
ご主人様専用
おっぱいは♪

ヌッ

ヌッ

最高だ

すっかりパイズリも
上手くなったな
さすがは自慢の
性処理奴隷だ

ありがとうございます♪
たくさん濃厚な精液
お出し下さいね♪

これからずっと
ご主人様の
性奴隷として
生き続けたいです♪

ご主人様と毎日
気持ちいいことが
できる私はなんて
幸せなのでしょう







Cafe

がチャッ

